

Kanayamach Rakuichii

金屋町楽市 in さまのこ 芸術文化学部地域連携プロジェクト

富山大学芸術文化学部教授 武山 良三



■新たな時代に向けたテーマは「工芸のカガヤキ」

「金屋町楽市inさまのこ（以下 楽市）」は、平成20年度より高岡鋳物発祥の町である金屋町一帯を、美術館に見立てて開催している地域連携事業です。平成27年度のテーマは、北陸新幹線の開業を受けて「工芸のカガヤキ」としました。東京方面からのアクセスが向上したことを追い風にするため、あらためて工芸の価値を発信することを狙いとして多彩な事業を行いました。

イベントの核となる工芸作品展示では、高岡銅器をはじめ地元ゆかりの作家作品を中心に集め、伝統的な町屋を活かした展示を行いました。

記念フォーラムは二夜連続で開催、初日は工芸が最先端のものづくりを行う上で果たしていける役割を確認すべく、ロボット制作を手がけるプロダクトデザイナーの中川志信教授と漆芸家の林曉教授を講師にディスカッションを行いました。ロボットに違和感のない動きをさせるために文楽人形の動きを参考にしたことなどが紹介され、工芸や伝統の技に日本ならではのものづくりにつながる可能性が秘められていることが確認されました。

二日目は人間国宝で金工家・大澤光民氏と、氏の制作風景を撮影して展覧会を開催した濱田まき子氏とを講師に迎え、ものづくりの工程から垣間見える作家の思いを紹介しました。

学部学生は、昨年に続き地域と連携した実践型の「プロジェクト授業」として楽市の多彩な事業に取り組みました。①会場全体レイアウト及び空間構成 ② 作品展示用什器のデザイン・制作・設置 ③会場ライトアップの企画、照明デザイン・制作・設置 ④「大澤光民写真展」の空間構成・什器制作・設置⑤「きもの通り」及びファッションショー「KANAYAこれくしょん」の企画・実施⑥広報グラフィックのデザイン⑦会場サイン、POPのデザイン・制作・設置⑧学生茶会の企画・実施（茶器制作）⑨風鈴づくりワークショップの企画・実施などです。加えて、サークル活動として吹奏楽の演奏を行いました。

英語と中国語のWebも制作した結果、外国人の姿も散見されるなど、新幹線効果が実感された楽市でした。

【記念フォーラム】

第一夜「工芸のカガヤキ」

日時：9月18日（金）18：30～20：00

会場：宗泉寺

内容：ロボットや3Dプリンタなど最先端技術の観点から、伝統的な工芸の本質を考えると共に、これからのあり方を展望しました。

講師：中川 志信（なかがわ しのぶ）

／大阪芸術大学デザイン学科教授

林 曉（はやし さとる）

／漆芸家・富山大学芸術文化学部教授

進行：武山 良三（たけやま りょうぞう）

／富山大学芸術文化学部教授・学部長

第二夜「職人のカガヤキ」

日時：9月19日（土）18：30～20：00

会場：宗泉寺

内容：ドイツ在住の写真家が捉えた職人の魅力について、作品解説と共に語り合いました。

講師：大澤 光民（おおざわ こうみん）

／鑄金家・人間国宝

濱田 まき子（はまだ まきこ）

／写真アーティスト

進行：武山 良三（たけやま りょうぞう）

／富山大学芸術文化学部教授・学部長

【工芸作品展示出展作家】

● 実行委員会推薦作家

青木良太、秋友美穂、荒木寛二、池田晃将、内島正雄、大澤光民、大治将典（倉敷帆布、JICON磁今、FUTAGAMI、輪島キリモト）、岡本佳子、小川太郎、小原好喬、黒田昌吾、佐野猛、佐野曜子、Shimoo Design、釋永岳、釋永維、釋永由紀夫、釋永陽、塚田美登里、中田博士、野田雄一、畠山耕治、畠春斎、林曉、林哲三、般若宗勲、般若泰樹、般若保、松井機業、宮崎匠、村田佳彦、山下郁子、六渡心六



● 公募作家

青木小波* 1、anyato~あんやと、一色清（有限会社湯島アート）、岩本清商店、上田レイコ、大竹喜信* 1、太田正伸* 1、加賀友禅 武部工房 武部徹* 1、川上真子、島田英里子* 2、杉田莉奈、宗山窯（若尾洋造）、高田千春* 1、竹多宏治、鶴見晋史* 1、天麻仙極寿神、能口和久、福田昭一、藤岡光一、藤本義和（藤本染芸芸）、増田守世* 1、宮崎愛、森裕一郎、山田幹雄、山本瑞生* 1：金沢職人塾 * 2：日本大学三井研究室

● 高岡デザイン・工芸センター

Z A I（小泉製作所、櫻井鑄造、砺波商店、相互企画印刷、はんぶんこ、大野屋、武蔵川義則、井上友実、廣瀬麻貴、大菅洋介）

● 伝統工芸高岡銅器振興協同組合

池田昭治、京田政春

● 富山ガラス工房

市川知也、内田悠介、川邊雅規、河原林洋行、熊谷峻、クレウマン・イングリッド、境田亜希、作田芳、三瓶茜、下田顕生、小路口力恵、杉江真奈美、鈴木亜紀子、高橋俊順、竹田舞由子、津阪洋介、中須杏奈、平野絹子、藤岡和典、光井威善、山本詩子、吉田尚代、和田修次郎

● 楽市賞歴代受賞者

梶原朋子、北村三彩、小曾川瑠那、佐々木俊仁、中島ゆり恵、廣瀬絵美、保木詩衣史、武蔵川裕実、輪島明子

● 富山大学大学院芸術文化科学研究科学生・研究生・卒業生
赤岩友梨江、池田将光、藤原愛、力田飛奈

[第7回 金屋町楽市賞]

次世代のものづくりを担う若手の人材発掘を目的に特に優れていると思われる作家・作品を表彰しました。

顕彰：金屋町楽市大賞、金屋町楽市賞、審査員特別賞

対象作品：18歳～35歳の作家・作品（2015年4月1日現在）

審査方法：9月19日（土）会場にて選定

審査員：武山良三（富山大学芸術文化学部学部長）、林曉（富山大学芸術文化学部教授）、相川繁隆（プロダクトデザイナー）、野田雄一（富山ガラス工房館長）、六渡心六（富山県郷土陶

芸会会長）、嶋安夫（伝統工芸高岡銅器振興協同組合理事長）、高川昭良（高岡市デザイン・工芸センター所長）、加藤昌宏（金屋町楽市実行委員長）

[その他の事業]

● 金屋町茶会

「おもてなし茶会」：宗泉寺

「楽市茶会 RESIDEN01 -素-」：大寺家滴翠庵及び小泉家

「学生茶会 KIRARI席」：緑地公園

● ワークショップ

鑄物、彫金、とんぼ玉、風鈴

● 金屋町きもの通り・着物のファッションショー

● 学生プラスバンドの演奏

● 食のイベント

● 大澤光民写真展

[運営]

総括：加藤昌宏、企画：武山良三、街区設計・什器設計：渡邊雅志・横山天心、展示協力：相川繁隆・嶋安夫・高川昭良・野田雄一、お茶席：小泉昇・小久保瑛子・般若陽子、生花展示：工藤泰子

[主催]

金屋町楽市実行委員会

以下構成団体：富山大学芸術文化学部、金屋町自治会、富山ガラス工房、高岡市デザイン・工芸センター、伝統工芸高岡銅器振興協同組合、高岡市、高岡市教育委員会、高岡市観光協会、高岡商工会議所

[協力]

公益社団法人 日本クラフトデザイン協会、金屋町七福会、ノースランド株式会社

[協賛]

三協立山株式会社、三芝硝材株式会社、アクタス富山店、和楽庵、藤岡敦子礼法きもの学院

[事務局]

高岡市産業振興部商業雇用課